

平成16年度当初予算案 新規・重点施策

信州モデル創造枠予算
県職員「直接提案」
県民参加の政策づくり推進事業「政策提案」

住民一人ひとりが自らの思いをもとに生み出し実践する協働の仕組み

【 commons の創出 】

集落創生交付金の創設(新規) 2億円
住民が安心して暮せる集落の創出を支援するため、一定の要件を満たす市町村に対し交付金を交付

commons 創出の支援(新規) 1,000万円
地域のニーズに応じた commons を創出するため、県の現地機関と住民との協働により地域に密着した活動を展開

宅幼老所(コミュニティの拠点)開設支援の充実 2億3,075万3千円
地域ケアの拠点として新たに40施設を予定

「おらのむらづくり」支援事業(新規) 500万円
集落総参加のもと個性と魅力ある村づくりに自ら取り組む活動を支援

「手づくり農村」支援事業 7,200万円
農家と地域住民が協働して自ら行う水路・農道等工事や維持管理活動を支援

commons によるみどりのアクション推進事業(一部新規) 5,271万7千円
広葉樹の植栽など地域が主体的に行う森林づくり、みどりづくりを支援

commons による野生鳥獣共存の里づくりの推進(一部新規) 4,575万4千円
地域にあった野生鳥獣対策を主体的に行う地域の活動に支援

- まちづくり基本計画の策定(新規) 2,483万3千円
信州の心豊かな美しいむらやまちを再生するためのまちづくりに関する県の計画策定
- NPO活動環境の整備 2,151万9千円
新たな公的サービスの担い手としての役割が期待されるNPOの自律を支援するための環境整備
- 民間社会福祉施設の「地域貢献活動」を支援(新規) 200万円
コモンズの一員として民間社会福祉施設が行う地域貢献活動を支援
- 市民がつくる「森の公園」事業 539万8千円
行政と市民との協働による烏川溪谷緑地の整備・維持・管理など
- 地域情報の発信(デジタルアーカイブス) 259万8千円
Webサイトによる地域情報の発信

社会的共通資本を管理・維持していくための制度的諸条件の整備

【福祉・医療】

- 1 地域生活移行に向けた障害者施策の充実
 - (1) 障害の種別を問わない総合的な障害者施策の推進
 - 障害者総合支援センターの設置(新規) 2億861万4千円
身体・知的・精神の3障害全てに対応できる相談支援センターを各圏域ごとに設置(10圏域)
 - 地域共生型生活ホームの設置(新規) 1,041万8千円
全ての障害者の生活の場を確保するため、精神障害者や高齢者も入居可能な共同住居の設置・運営を支援
 - 障害児(者)タイムケア事業の拡充 6,338万2千円
新たに精神障害者を対象に追加

(2) 障害者の地域生活移行を支援

(地域に住まう)

西駒郷利用者の地域生活移行のためのグループホーム整備の支援
1億9,351万4千円

西駒郷利用者向けのグループホーム建設を促進

重症心身障害者等のグループホーム整備・運営支援 4,206万6千円
手厚い支援が必要な重度の知的障害者の地域生活移行を促進するため、ナイトケアを行う介護福祉員の配置など支援体制を拡充

精神障害者グループホーム整備への支援(新規) 3,600万円
精神障害者グループホームの施設整備を促進

精神病院の長期入院者の退院支援 336万9千円
精神病院の長期入院者の社会復帰を支援

知的障害者の自活訓練の支援 2,297万1千円
西駒郷等が行う知的障害者への自活訓練事業に対する支援など

在宅の知的障害(児)者の自律生活体験を支援(新規) 497万5千円
在宅の知的障害(児)者のグループホーム等での宿泊体験を支援

県営住宅の福祉サポート体制の整備 8,543万5千円
県営住宅をグループホーム等に活用するために必要な住宅改修など

(地域で働く)

共同作業所の経営・技術強化への支援(新規) 1,542万5千円
販路開拓支援、受注開拓コーディネーターの設置など

(地域で過ごす)

知的障害者の日中活動の場の拡大支援(新規) 2,208万1千円
知的障害者入所更生施設への通所部設置に対する支援など

通所施設障害児(者)への訪問看護サービスの支援 905万2千円
医療的ケアが必要な障害児(者)がいる通所施設への看護師の派遣に加え、新たに看護師の配置についても助成

障害者ITサポートセンターの設置運営 511万9千円
障害者のIT利用に係る相談支援、パソコンボランティア養成など

障害児の社会参加を促進(新規) 2,332万円
障害児及びその家族を対象としたスポーツ・レクリエーション活動
の実施など

障害者の休日・夜間の余暇活動の支援(新規) 250万円
在宅の障害者の休日・夜間の余暇活動を支援するNPO法人等への
助成

2 地域で支える自律した生活の支援

高齢者・障害者にやさしい住宅改良の促進 1億7,500万円
身体障害者4～6級所持者まで対象者を拡大

在宅の重度心身障害児(者)の訪問歯科健診の実施(新規) 235万7千円
在宅の重度心身障害児(者)に対する歯科健診及び歯科保健指導

福祉移送サービスの支援(新規) 1,500万円
NPO法人等が行う福祉移送サービスの運営を支援

3 従来の発想にとらわれない保健・福祉・医療分野の新たな施策の展開

中国帰国者^{あいしんししゅ}愛心使者事業(新規) 9,733万5千円
中国帰国者への慰藉事業

自閉症児(者)及び家族に対する支援(新規) 337万3千円
自閉症自律支援センターの設置による療育相談体制の整備

不妊治療費の助成(新規) 4,350万円
配偶者間の体外受精及び顕微授精に対し助成

DV被害者の緊急避難の支援(新規) 38万4千円
DV被害者の緊急避難場所の確保

4 医療提供体制の充実

小児初期救急医療体制の整備 2,277万円
国のモデル事業として実施中の長野市、松本市に加え、「センター方

式」により小児初期救急医療を提供する取組に対し、新たに県単独事業により助成

県立病院における医療提供体制の充実(新規)

こども病院の第5病棟の開設(23床) 慢性呼吸管理病床の新設、
神経科・整形外科を増床・移設 1億9,937万1千円

阿南病院の療養病棟(6か月程度にわたり療養を必要とする患者の
ための病棟)の整備(45床) 6,285万2千円

5 健康長寿・信州を支える地域保健活動の推進

タウン保健所の開設 389万2千円

スーパー、駅前広場等県民が気軽に訪れる場所における健康相談の
実施

たばこ対策の推進(新規) 746万4千円

禁煙・卒煙に向けた支援体制を整備

6 外国籍県民との共生

外国籍児童の日本語学習・就学の支援 378万9千円

親と子の日本語教室の運営支援、日本語学習リソースセンターの機
能充実

外国籍県民のための救急医療の確保 631万9千円

外国籍県民が救急医療を受けた分で未払いとなっている医療費につ
いての医療機関への助成

外国籍県民の心と身体の安心サポート体制の整備 174万5千円

外国籍県民を対象とする健康相談会や健診の実施

【教育】

1 個性や能力を伸ばす教育の推進

信州こまやか教育プランの拡充 38億9,450万円

小学校30人規模学級を市町村との協働事業として6年生まで拡大、
小学校4年生から中学3年生まで少人数学習指導を実施

2 自律教育の充実

LD(学習障害)・ADHD(注意欠陥/多動性障害)児等への支援(新規)

235万4千円

通常学級で学ぶLD(学習障害)・ADHD(注意欠陥/多動性障害)児等が主体的かつ自律的に生きる力を育む環境を整備

病弱養護学校の体制整備(新規) 教員定数内での増員

若槻養護学校に高等部を設置するとともに、若槻・寿台両養護学校へ通学制を導入

「乳幼児きこえの教室」の設置(新規) 305万6千円

ろう学校から遠隔の地に住む聴覚障害乳幼児が、専門的な教育を身近な地域で早期から受けられる「きこえの教室」を設置

要医療的ケア児童等の学習の支援 3,712万3千円

日常的に医療的ケアが必要な児童生徒への支援

養護学校などの校舎等の改修 8億5,452万4千円

稲荷山養護学校の改築、校舎等の大規模改修など

3 家庭・学校・地域の連携による子どもたちの育成支援

子どもの社会力向上モデル事業の実施(新規) 276万円

子どもの社会力向上を図るため、異年齢集団で共同生活を営み、日常生活を自力でやり遂げる通学合宿の実施

農産物の旬を味わう信州モデルの推進 3,754万4千円

次世代を担う子どもたちへの良質で安全・安心な地元の農産物の提供と食育の推進

おはなしドキドキぱーく事業の実施 1,611万8千円

子どもたちの夢を育むための絵本の読み聞かせや紙芝居等を行うアトラクション自動車の運行

高校生が行う地域貢献活動への支援 220万円

高校生が自主的に行う地域貢献活動やNPO活動体験を支援

認可保育所の補完的役割を担う自由保育所(認可外保育所)の支援
5,804万4千円
一定の基準を満たす自由保育所に対する認可保育所並の助成

多様な保育サービスを提供する特別保育の充実 11億3,008万3千円
新たに、商店街の空き店舗など子育て親子の交流の場を提供する子育て家庭地域支援事業や、午前か午後のみといった必要に応じて柔軟に利用できる特定保育事業を追加

子どもの悩みに応えるチャイルドライン(子ども専用電話)の充実 500万円
新たに中南信地区におけるチャイルドラインの立ち上げを支援

児童クラブ事業の充実 2億9,831万4千円
新たに障害児など支援を特に必要とする児童を受け入れるための指導員の配置について助成

4 教育改革の推進・新しい学校づくり

高等学校教育の改革 527万2千円
生徒の多様化、社会の変化に対応した高等学校改革プランの検討

養護学校地域化の推進 84万4千円
養護学校高等部分教室の設置に係るモデル校の選定や盲・ろう養護学校小・中学部の地域化に係る課題や方策について研究

5 教職員の資質向上

教員の資質向上のためのアクションプログラム 3,546万4千円
教職員復職訓練・審査、英語教員研修、教員評価に関する調査研究、指導力不足等教員の判定など

6 時代の変化に対応した教育の推進

アジアからの高校留学生の受入 1,431万4千円
アジア諸国の留学生を受入れ、高校生などの国際的視野を広げるとともに農林業科設置校の活性化を推進

7 豊かな心をはぐくむ教育の推進

スクールカウンセラー設置の充実 1億1,505万8千円
多様な悩みを抱える児童生徒を支援するスクールカウンセラー増員

民間と連携した不登校児童生徒支援の充実 2,642万3千円
フリースクール関係者等と連携した不登校児童生徒の支援体制整備

8 教育環境の整備・充実

教育情報ネットワークの整備(新規) 2,460万7千円
高速情報通信ネットワークを利用・活用した教育や学校運営をする
ための環境整備

木の香る学校推進事業 5,439万8千円
小・中学校、養護学校等への県産材による机、椅子の導入や幼稚園
等の木造・木質化を支援

9 生涯学習の基盤づくり

地域に開かれた高等学校図書館の活用(新規) 360万1千円
地域に多様な学習機会を提供するため、県立高等学校図書館を開放

県立図書館の機能強化 6,302万5千円
専門図書・外国語資料の充実、貸出図書の拡大

【産業・雇用】

1 雇用のミスマッチの解消と就業機会の確保

若年者就業サポートセンターの設置(新規) 8,751万6千円
若年者を対象とした職業紹介、キャリアコンサルティング、職場体
験機会の提供等のサービスをワンストップで行うセンターを設置

若者向けデュアルシステム訓練の導入(新規) 2,873万3千円
技術専門校に企業実習と職業訓練を行う新しい訓練システム = デュ
アルシステムを導入し、即戦力となる教育訓練を実施

長野県による職業紹介事業(新規) 3,508万3千円
母子家庭の母、障害者等の職業紹介と生活支援を行うための求人開
拓員を地方事務所に設置(10名)

働き盛りの世代を対象としたトライアル雇用 1億1,167万3千円
30歳から45歳の働き盛りの世代を対象としたトライアル雇用

県による直接短期雇用 6,376万3千円
行政パートナーの任用

建設産業の構造改革を推進 1億2,063万9千円
建設投資の縮減による影響緩和のための建設産業の構造改革支援

2 新産業の創出と総合的な起業支援

コモンズを起点とした新産業の創出支援 2億4,325万円

(中小企業、NPO法人、市町村等による地域産業創出プロジェクトを支援)

3×3産業コンソーシアム研究開発事業、3×3産業技術開発費補助事業、
地域はつらつ産業創出プロジェクト支援事業、コミュニティ・ビジネス創業
資金助成事業の4事業を統合

総合的な新規創業の支援 2,488万2千円
業種や業態にとらわれない総合的な創業を支援するビジネス・コー
ディネーターを設置

新規就農里親の支援 3,078万2千円
意欲ある農業者の里親登録による円滑な1ターン者等新規就農者の
確保

信州林業の担い手の育成 400万円
建設業から森林整備に新規参入した者のOJT研修への助成

「森の学校」モデル事業 240万円
豊かな自然を活用した森林体験プログラムを提供できる人材の養成

信州農業再生戦略プロジェクト(新規) 1,493万8千円
環境に負荷を与える農業から環境と共生する農業への転換

新用途繭の推進(新規) 297万2千円
ブランド繭の生産振興やセリシンを利用した製品開発等への支援に
よる蚕糸業の活性化

信州木づくりの家の整備推進 800万円
県産材活用住宅の戦略的な研究・開発に取り組む地域住宅産業グル

ーブへの財政支援

やすら木とぬく森の住まいへの低利融資 3億755万4千円
一定の良質な木造住宅の新築・増改築等に対する低利融資など

エコメディカル&ヒーリングビレッジ事業 610万円
森林が持つヒーリング(癒し)効果を活用した都会からの人を受け入れる環境整備を支援

森(しん)世紀ブランド流通促進事業 406万円
針葉樹家具を高付加価値製品としてブランド化し流通させるための支援

3 観光産業による地域の活性化

観光マーケティングの支援 1億5,175万円
長野県観光協会が実施する「信州ブランド化・リピーター創出推進事業」等への補助、「信州観光情報センター」(仮称)の設置など

4 産業振興の基盤強化

中小企業制度資金による資金供給の円滑化 634億8,375万9千円
技術力等支援、建設産業新分野進出支援、再生支援(新規)など
(融資目標額 960億円)

中小企業の商品開発、販路開拓を支援 2,700万円
商品企画や営業経験豊富な大企業等の企業経験者による商品化・販路開拓アドバイザーの設置など

海外取引コールセンターの設置 804万1千円
海外取引相談員(2名)を設置し、国外からの受注獲得等を支援

小規模企業支援体制の強化(チャレンジ枠) 7,000万円
競争による地域経済活性化を図るため、公募により予算を配分する「チャレンジ枠」を拡大

特許コンシェルジュ派遣による知的財産の活用支援 392万円
研究開発成果の目利き、特許手続き等に関するアドバイス

長野県独自の資格認定制度の創設(新規) 400万円
各企業や業界団体等が自主的に構築した資格制度を県が認定する独自の「資格認定制度」の創設

高速情報通信ネットワークの整備 1,667万7千円
民間サービスを活用したネットワーク整備をメンター(助言者)の指導の下で行うとともに、地域でのブロードバンド環境の利用や活用を促進

【環境】

1 伝えたい信州の自然環境

乗鞍岳の自然環境の保全 200万円
自動車利用等の適正化により乗鞍岳の自然環境を保全

ビーナスライン沿線での自然再生の実施(新規) 550万円
生物多様性を確保するため、美ヶ原高原本来の植生の再生を図る

希少野生動植物の保護 656万7千円
希少野生植物保護監視員の配置、規制の対象となる動物の指定など

地球温暖化の防止 200万4千円
温暖化防止パートナーシップ会議の開催と地球温暖化防止活動推進員への活動支援、上高地環境の保全など

ふるさと景観形成の推進(新規) 705万円
松本・安曇野地域が誇る屋敷林等の景観資源を保全する事業を推進

“美しいまち・ふるさとの道”の再生支援(新規) 5,537万5千円
住民・市町村・県が一体となった「まちなみや道路」の再生

せせらぎの自転車周遊小路の整備(新規) 1,050万円
万水川(安曇野)の河川管理道路にサイクリングや散策のための簡易舗装や案内標識等を設置

「波田学院の森」整備支援 926万8千円
波田学院構内の森林を整備することにより、貴重な生態系の保全

を図るとともに、入所児童と地域住民との交流を促進

森が創るきれいな湖モデル事業 100万円

間伐材や木炭等を材料に自然生態系がもつ循環システムを利用した湖沼浄化システムの普及

ブラックバス・ブルーギル対策の推進(新規) 401万4千円

県民参加によるバス・ギル駆除作戦の展開や釣り教室の開催など

県営総合射撃場の土壌対策 6,000万円

土壌調査の結果に基づき5か年で鉛を含んだ土壌を回収

沿道やすらぎ環境改善 500万円

有料道路の料金値下げによる、有料道路と並行する一般道路の環境改善の推進

2 信州の森林整備

流域管理 森林(もり)と水特別対策事業 6億2,342万円

浅川・砥川などの重要な流域の森林整備の推進

県有林のブナの森づくり推進 7,806万4千円

県有林におけるブナの植栽や県民参加によるどんぐりの種まき等の実施による針広混交林化の推進

森林の里親促進事業 450万円

企業の理解と支援のもとで集落が行う森林整備事業の推進

信州・炭のプロジェクト事業(新規) 750万円

信州産の木炭を公共事業、教育、農業、住宅など多方面で活用

県営住宅の建設 8億6,962万4千円

木造の共同住宅建設や建設中の住棟の内装木質化

3 持続可能な循環型社会の形成

中信地区廃棄物検討委員会の運営 3,684万9千円

中信地区廃棄物検討委員会及び部会の運営

既存廃棄物処理施設の利活用可能性調査(新規) 500万円
既存施設の再生・延命化を図るための容量・処分実績等の調査

廃棄物減量化の啓発(新規) 308万円
廃棄物の減量化を推進するため、既存のシステムにとらわれないアイデア・技術を提案し実証

ナタネ循環システムの推進 1,250万8千円
バイオマス資源であるナタネを有効に利活用した循環型社会構築の推進

森のエネルギー推進事業 1,690万円
脱温暖化・循環型社会構築に資する森林資源エネルギーの利用促進

資源循環システムの構築 75万4千円
資源循環システムの構築を図るためリサイクル製品を認定

畜産排せつ物処理施設整備への支援(新規) 196万4千円
畜産環境整備リース事業に要する経費を助成

【安全・安心が保障される県民の暮らし】

1 危機管理・防災対策の推進

県有施設耐震対策の実施 2億2,935万7千円
東海地震対策のための県有施設の耐震診断・実施設計

すまいの安全「とうかい」防止対策 4,507万8千円
住宅などの耐震診断、耐震補強の推進(対象地域拡大など)

自然災害被災者支援制度への資金拠出 5億1,429万1千円
被災者の自律した住宅の再建、居住確保を図るため、都道府県が相互扶助の観点から資金を拠出し、支援金を支給する制度を創設

災害危険地域からの移転支援 3億円
土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定のための調査、住宅移転に係る相談・支援

2 治水・利水対策の推進

諮問河川の治水対策促進 8億200万円

浅川・砥川等の諮問河川における河川改修事業の促進や土砂災害対策の調査など

流入抑制のための流域対策の検討 692万6千円

雨水の浸透施設や調節池の設置などの流入抑制対策の検討

雨水の各戸貯留施設設置の支援(新規) 300万円

浅川の流域対策推進のため住宅等に雨水貯留施設を設置する住民に補助

県有施設雨水利用貯留タンク設置(新規) 493万2千円

浅川流域内にある県有施設への雨水利用貯留タンクの設置

水道水源の確保支援 1,897万円

市町村が行う水源調査、取水施設、導送水施設の整備に対する助成

地下水保全対策の実施 2,104万円

窒素による地下水汚染について、その原因を特定するための調査を実施

流域協議会の開催 446万3千円

流域・利水対策に関して、流域に係る県民と市町村、県が対等の立場で意見を交換し合う流域協議会を開催

3 食の安全の確保

食品検査の充実強化 319万7千円

遺伝子組換え食品、加工食品中のアレルギー物質などの検査

信州コイの養殖体制の確立(一部新規) 715万円

コイヘルペスウィルス病の検査体制、生育状況監視のための巡回指導など

「高病原性鳥インフルエンザ」の防疫体制の整備(新規) 192万7千円

早期発見・まん延防止のためのモニタリング検査の強化

安全・安心こだわり畜産サポート(新規) 496万1千円
安全・安心・おいしさを追求した信州産牛肉等の生産体制の構築

4 公共交通の確保

しなの鉄道経営の健全化支援 1,355万2千円
しなの鉄道の経営健全化を図るため、投資額の大きな老朽設備の更新等に助成(変圧器・整流器の更新、ホームの段差解消など)

松本空港の活性化 163万3千円(債務負担行為 2億5,000万円)
修学旅行等の利用に対する助成、化学消防車の増車など

中山間地域等の生活交通の確保支援 1,260万円
地域の公共交通手段の計画策定や試行実験に対し助成

5 犯罪被害者への支援

犯罪被害者等のトータルサポート(新規) 201万6千円
行政・民間協働の被害者支援体制を構築するため民間活動を助成

【公共投資の重点化・効率化】

公共事業費・県単独事業費の重点化

| | |
|--------|-----------------|
| 公共事業費 | 909億6,290万9千円 |
| | 15年度当初予算比 77.8% |
| 県単独事業費 | 203億8,833万8千円 |
| | 15年度当初予算比 64.7% |

信州型木製ガードレールの活用 1億円
平成15年度に開発・認定される「信州型木製ガードレール」の積極的活用

ローカルルールによる道路整備 1億5,000万円
地域の実情に応じた「1.5車線道路」の整備拡大

歩行者主役型の道路リメイク(新規) 2億円
バリアフリー型の安全で安心な歩行空間ネットワークの整備など

誰でもわかる案内標識の整備(新規) 4,500万円
県道交差点の路線番号標識の整備(一部木製)

【県庁の改革】

変革の時代を担う職員活性化プログラムの構築 4,700万円
新たな人事評価システムの創造と研修体系の見直し